

企画展「安藤正子展 ゆくかは」



安藤正子「ムービータイム」木製パネルに雲肌麻紙、アクリル絵具、水彩絵具、鉛筆、水彩色鉛筆、パステル
100×100 cm 2021 ©Masako Ando
sticker by モニョチタポミチ・鱗片堂 photo by Tamotsu Kido

子どもや毛糸の編み物、動物や草花などをモチーフとして、滑らかな絵肌に描かれた安藤正子の油彩画は、詩的な雰囲気にあふれ、見るものを惹き付けます。油絵具の特質を生かした緻密な描写や、大きな余白などの様々な絵画的要素の中で形作られた油彩画と、精微で硬質な質感の鉛筆画は、制作に時間を要し、年に数点というペースで描かれてきました。

近年、愛知県瀬戸市に移住し、第二子の出産を経て、その地で生み出された陶レリーフの作品群によって、安藤はそれまでの表現から大きな展開を遂げました。また、関連して描かれたドローイング群や絵画作品からは、身近な対象の今を大切にすくい取ろうとする新たな姿勢がうかがえます。

作家の身辺の変化から生じたものを、初期の油彩画や鉛筆画、近年の水彩や木炭のドローイング、陶作品、新作の絵画作品やインスタレーション等、作品の変遷から読み解きます。手法を変化させながらも、一貫して「絵」を作り続けてきた安藤のこれまでの歩みを展覧します。

安藤正子

1976年愛知県生まれ。瀬戸市在住。2001年愛知県立芸術大学大学院修了。現在、同大学美術学部油画専攻准教授。主な個展に、「ハラドキュメンツ 9 安藤正子 — おへその庭」(原美術館、2012年)、「安藤正子 作品集刊行記念展『Songbook』」(8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery、2016年)、「Portraits」(Tomio Koyama Gallery、2021年)。主なグループ展に、「高橋コレクション展 マインドフルネス！」(鹿児島県霧島アートの森、札幌芸術の森美術館へ巡回、2013年)、「リアル(写実)のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと」(平塚市美術館ほか6館を巡回、2022年)等。

展示内容 油彩画、鉛筆画、ドローイング、陶作品、映像等 約59点

会 期 2023年7月8日(土)～9月3日(日) 58日(開館50日)

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日 毎週月曜日(ただし7月17日(月)は開館)、7月18日(火)

主 催 一宮市三岸節子記念美術館

協 力 小山登美夫ギャラリー

観 覧 料 一般800円、高大生400円、中学生以下無料

※コレクション展(常設展)観覧料を含む

※20名以上の団体は2割引

※一宮市内の満65歳以上で住所・年齢の確認ができる公的機関発行の証明書等を提示された方、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳を持参の方(ミライロID可、付添人1人を含む)は無料

会 場 一宮市三岸節子記念美術館

〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1

TEL: 0586-63-2892

FAX: 0586-63-2893

HP: <https://s-migishi.com/>

【みどころ】

- ① 細密な油彩画で知られる安藤正子のミッドキャリアの回顧展。油彩画の他、ドローイングや陶作品、映像作品等約60点を展示。
- ② 前作『Songbook』以来、8年ぶりの作品集『ゆくかは』(青幻舎)を刊行。展示作品の他、論考やエッセイ、ロングインタビューを収録。

交通案内

公共交通機関

- ・JR 東海道本線(名古屋駅⑤⑥番)にて「尾張一宮駅」下車、または名鉄名古屋本線にて「名鉄一宮駅」下車(JR 新快速・名鉄特急で 10～15 分)、一宮駅西口の名鉄バスターミナル②番のりばから「起(おこし)」行きで約 15 分、「起工高・三岸美術館前」バス停下車、徒歩 1 分。[バスは 1 時間に約 3 本運行]
- ・岐阜羽島駅(東海道新幹線)よりタクシーで約 20 分

お車

- ・大阪方面／名神高速道路：岐阜羽島 I.C.より約 15 分
- ・東京方面／名神高速道路経由：東海北陸自動車道一宮西 I.C.より約 10 分
- ・北陸方面／東海北陸自動車道：尾西 I.C.より約 10 分

【関連行事】

最新情報は当館 SNS をご確認ください。

ワークショップ「海の石を貼り付けて作ろう 生き物のお皿」

内 容： 海の石を型にして、世界にひとつだけのお皿を作ってみましょう。後日、焼成してお渡しします。

日 時：7月23日(日) 14:00～15:30

講 師：安藤正子氏(出品作家)

対 象：小学生～一般(小学3年生以下は保護者同伴)

定 員：12名(抽選)

会 場：当館 1階 ロビー

参加費：1,000円(材料費)

申込み：6月1日(木)午前9時から7月7日(金)午後5時までに、下のWEBサイトまたはQRコードからオンライン申込。または、はがきに郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・学年・電話番号を記入し「安藤正子展ワークショップ」と明記の上、郵送(7/7金必着)。

<https://logoform.jp/form/Z3LR/259133>



アーティスト トーク

日 時：8月5日(土) 10:00～、14:00～

講 師：安藤正子氏(出品作家)

会 場：当館 2階 企画展示室

参加費：無料(要観覧券)

申込み：不要(当日直接会場)

※10:00～の回は、赤ちゃん・お子さま連れの方もお気軽にご参加ください。

学芸員によるギャラリーガイドツアー

日 時：7月29日（土）、8月27日（日） 各 14:00～

会 場：当館 2階 企画展示室

参加費：無料（要観覧券）

申込み：不要（当日直接会場）

フードイベント

安藤正子氏が作ったお皿で、美味しいおやつをご提供します。

安藤さんのお皿でコロッケを

日 時：7月15日（土） 11:00～（売切れ次第終了）

※荒天順延。当館 SNS にて告知します。

協 力：コロッケ屋 みね

会 場：当館前屋外スペース



安藤さんのお皿で月餅を

日 時：8月19日（土） 11:00～（売切れ次第終了）

協 力：いたまど

会 場：当館喫茶コーナー



安藤さんのお皿でカップケーキを

日 時：9月3日（日） 11:00～（売切れ次第終了）

協 力：Art Space & Cafe Barrack

会 場：当館喫茶コーナー



【同時開催】

- 三岸節子 コレクション展（常設展）「太陽に祈りを」
- こどもミュージアム 2023 「おばけのマールと ほしにねがいを」
- いちのみやミュージアムズ 「3館 de スタンプラリー」

会 期：7月8日（土）～9月3日（日）

【お問い合わせ先】 一宮市三岸節子記念美術館 （野田）
〒494-0007 愛知県一宮市小信中島字郷南 3147-1
TEL 0586-63-2892 FAX 0586-63-2893
E-mail migishi@city.ichinomiya.lg.jp

【広報素材】

広報用画像を提供いたします。詳しくは、展覧会担当までお問い合わせください。

all images: ©Masako Ando, Courtesy of Tomio Koyama Gallery



安藤正子「ムービータイム」木製パネルに雲肌麻紙、
アクリル絵具、水彩絵具、鉛筆、水彩色鉛筆、パステル
100.0×100.0 cm 2021年 sticker by モニョチタ
ポミチ・鱗片堂 photo by Tamotsu Kido



安藤正子「APE」パネル張りカンヴァスに油彩
190.0×146.0 cm 2014年
photo by Tamotsu Kido 札幌宮の森美術館 蔵



安藤正子「ぶどうのジュース」紙に木炭
66.0 x 66.0 cm 2019年
photo by Tamotsu Kido



安藤正子「タローを描く」紙に鉛筆、水彩色鉛
筆、水彩絵具 66.0 x 50.0 cm 2022年
photo by Tamotsu Kido



安藤正子「ニットの少女 II」セラミック、板
h.74.1 x w.91.6 x d.12.2 cm 2020年
photo by Kenji Takahashi